

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	バイオ・再生医療学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	化粧品学		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	402教室
担当教員	西岡 利子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①皮膚や毛髪などの人体構造を理解する ②化粧品に配合される成分機能を理解する ③化粧品開発における流れを理解する ④化粧品における有効性評価・安全性評価・品質評価について理解する ⑤化粧品検定二級内容を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
1.理解度テスト:40% 2.授業態度:20% 3.課題提出:20% 4.出席点:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布プリント、授業ノートの復習、						
《履修に当たっての留意点》						
化粧品、成分、開発の流れなど身近なものについて詳しく学ぶことで化粧品への興味関心をより広く・深めていってほしい。また本講義で学んだことを卒業研究や就職活動へと活かしていってほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚構造について理解する	配布プリント	自身の皮膚構造について観察する	
	講義形式	各コマにおける授業予定	・皮膚構造における基礎知識 (皮膚構造、表皮構造、真皮構造) (表皮角化細胞、真皮線維芽細胞、メラニン産生細胞)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚のバリア機能やしわのメカニズムなどを理解する	配布プリント	自身の皮膚においてどういった保湿などを行っているのか意識的に観察する	
	講義形式	各コマにおける授業予定	・皮膚構造における基礎知識 (表皮バリア機能、水分保持、保湿のメカニズム) (シワ・タルミのメカニズム)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	メラニン産生について理解する	配布プリント	自身のままでの日焼け経験などをまとめておく	
	講義形式	各コマにおける授業予定	・皮膚構造における基礎知識 (メラニン産生のメカニズム) ・日焼けについて (紫外線と皮膚との関係)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭皮・毛髪について理解する	配布プリント	自身の頭皮や毛髪の観察をしておく	
	講義形式	各コマにおける授業予定	・頭皮及び毛髪の基礎知識 ・毛髪の化学構造			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品成分(油脂類、保湿剤、高分子化合物等)について理解する	配布プリント	身近な化粧品の成分について観察しておく	
	講義形式	各コマにおける授業予定	・油脂類の機能について ・保湿剤について ・高分子化合物			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品成分(紫外線吸収剤、酸化防止剤等)について理解する	配布プリント	身近な化粧品の成分について何が配合されているか確認しておく。
		各コマにおける授業予定	・紫外線吸収剤・反射材 ・酸化防止剤		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品における医薬部外品について理解する	配布プリント	身近に医薬部外品化粧品がないか探す、また成分を見ておく
		各コマにおける授業予定	医薬部外品の定義 薬剤成分について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ、心理的効果について理解する	配布プリント	自身がメイクをするときやメイクをした人と会うときにどんなメイクなのかなどを観察しておく
		各コマにおける授業予定	・基本的なメイクアップについて ・心理的効果について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	スキンケアの効果と方法について理解する	配布プリント	身近なスキンケア製品の成分や表示されている効果などを観察しておく
		各コマにおける授業予定	・スキンケアにおける目的、機能、主な成分など		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	化粧品の物理化学について理解する	配布プリント	身近な化粧品(洗浄に使用するもの)がどういった成分構成か観察しておく
		各コマにおける授業予定	・界面化学について ・コロイド化学について		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	化粧品各種評価試験について理解する	配布プリント	身近な化粧品がどういった評価試験が行われているか調べておく
		各コマにおける授業予定	・安全性評価・微生物評価・安定性評価について		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	化粧品業界の動向、市場について理解する	配布プリント	化粧品業界の市場動向やトレンドなどわかる範囲で調べてまとめる。
		各コマにおける授業予定	・化粧品業界の市場動向 ・顧客のニーズ動向 ・近年のトレンドについて□		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品開発の流れを理解する	配布プリント	自身が実際に開発してみたいと思う化粧品について考えておく
		各コマにおける授業予定	・化粧品開発の流れ ・会社ごとの開発における強みなどを学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品の成分処方について理解する	配布プリント	身近な化粧品の成分について観察しておく
		各コマにおける授業予定	成分同士の相乗効果などの処方について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品にまつわる法律について理解する	配布プリント	身近な化粧品にまつわる法律の問題になったものなどを調べておく
		各コマにおける授業予定	・薬事法 ・諸外国における化粧品法規		